

『臨界期』をのがさない教育を

'23年度(前期版)



- ジュニアカリヨン (年中・年長)
- シニアカリヨン (小1・小2)

幼児・小学生の基礎能力開発 ジュニアカリヨン (年中・年長)
シニアカリヨン (小1・小2)

中学受験予備校 W i L L (小3～小6)

“難関大学・医学部”進学のための基盤づくり (中1～中3)

良いことも悪いことも、ほとんどの種は幼児・小学生の時にまかれます。後戻りできません。



〒790-0011

松山市千舟町4丁目3-9 ワシヤビル 2F

TEL 089-987-6162

FAX 089-987-6163



教育の目的；自活力の涵養と文化の伝承

1

三十歳になった時、どれだけの生活力を持てたか
また生き甲斐を感じて毎日を送っているか

3歳		8歳		(中3～)
人生は3歳までにつくられる！ “幼稚園では遅すぎる” (井深 大)	(年少～小2)	(小3・小4)	(小5・小6～中1・中2)	
幼少期の経験が その後の人生を大きく変える “就学前、特に乳幼児における 教育効果が絶大である” (ジェームズ・ヘックマン) “非認知能力”	“10歳の壁”は“飛躍”の時	中学受験か 高校受験か 10歳～12歳は ガンガン勉強がベスト	『大学入試改革』に どう向きあうのか	

子ども時代の過ごし方によってその後の人生は大きく左右される

『学生が抱える深刻な悩みの根っこに幼少期以来の育ちの問題が潜む。
責任は若者自身にあるのではなく、生育環境を用意する大人（親）にある。』

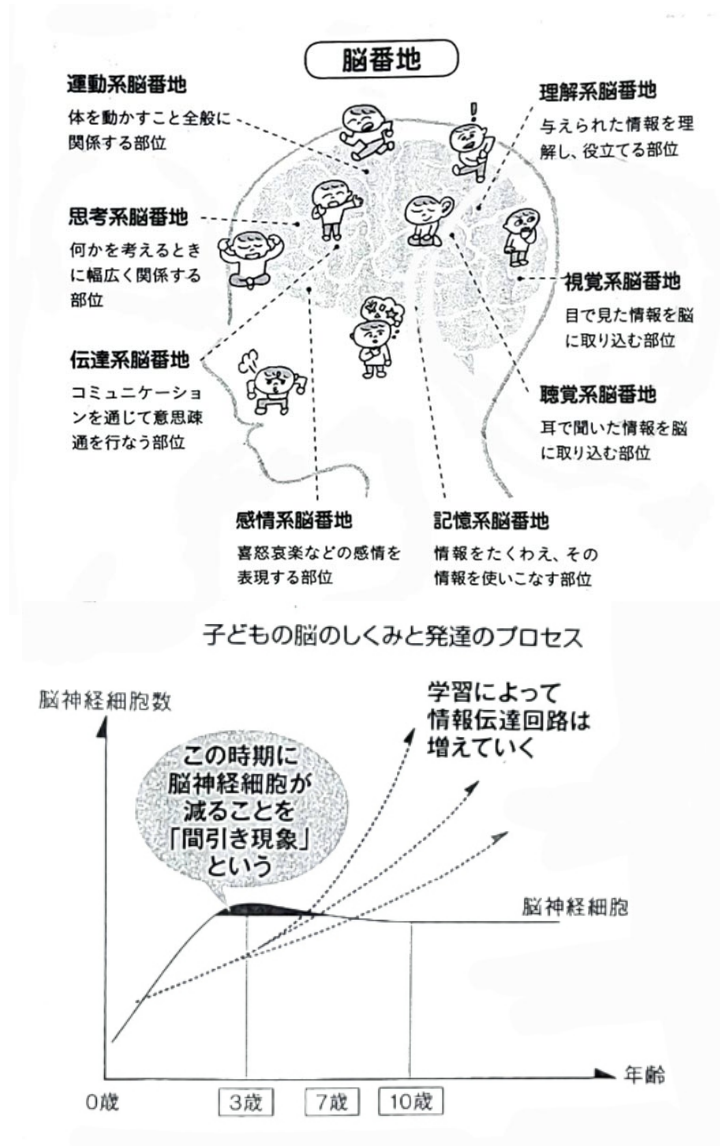
WILLで

カリヨン (FA研・四谷大塚)	四谷大塚教材・テスト	英語の基盤づくり 数学の基盤づくり
-----------------	------------	----------------------

- ・非認知能力の育成 (認知能力を高める学習の過程で非認知能力を高める)
(忍耐力和処理能力)
 - ・自発性
 - ・チャレンジ

自己コントロール力を高める (自分を動機づける + 自分でやり抜く力)

人生は三歳までにつくられる
“幼稚園では遅すぎる” (井深 大) か？



脳神経細胞の持つ3つの本能

- 1、『生きたい』 … 『家庭』
- 2、『知りたい』 … 『教育』
- 3、『仲間になりたい』 … 『会社』

3歳までは『本能』磨きに集中する。

『競争したがる』『真似したがる・やりたがる』『身近な人と仲間になりたいがる』『ちょっとだけ新しいことを覚える』『耳を鍛える』

※神経伝達回路未発達 → 無理な学習はNG

○ 脳の成長は一生続くが、特に子ども時代はぐんと伸びる

・ 子どもの脳の成長過程

脳の後ろ = 情報収集の番地 (情報収集と理解力)

右脳の言葉以外の情報

- ※ 五感を使う体験を多く (目・耳・鼻・口・皮膚)
- ※ 文字を詰め込みすぎない

... 《 3歳 ~ 7歳 》

左脳の言葉の情報

- ※ 言葉の情報は『後ろ左』の栄養
- ※ 情報を言葉にでき、情報を理解する

... 《 7歳 ~ 10歳 》

10歳の壁

脳の前部 = 考える。言葉以外の情報と言葉の情報を使って自分で考えて行動する

... 《 10歳 ~ 》

- ※ 後ろが成長していないと ... アドバイスが聞けない・素直さに欠ける
- ※ 前側が成長していないと ... 『指示待ち』
- 『次はこうしよう・これをやろう』 ... 自分で盛り上げる
- 自分でやってやろうと思ったことを成し遂げる；『自己報酬神経群』

十分『育脳』 ... バランスのとれた脳をつくり自分で考え、実行に移す力

育脳の基本の方法 (林 成之さん)

1. 物事に興味をもち好きになる力をつける
2. 人の話を感動して聞く
3. 損得抜きで全力投球する素直な性格を育む
4. 『無理』『大変』『できない』など否定的なことを言わない
5. 目標に向かって一気に駆け上がる
6. 『だいたい分かった』など中途半端にしない
7. 重要なことは復習し繰り返す
8. 自分のミス、失敗を認める
9. 人を尊敬する力を身につける
10. 類似問題で判断力を磨く

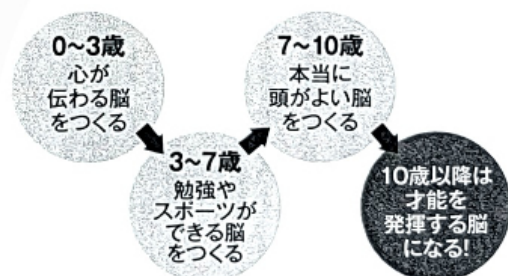
= 非認知能力

子どもの才能は後天的に伸びる

となります(図5)。

- 1 0~3歳で、脳の本能を磨き、「心が伝わる脳」を育てる
- 2 3~7歳で、脳にとって悪い習慣をやめ、「勉強やスポーツができる脳」のベースを育てる
- 3 7~10歳で、自ら学ぶ「本当に頭がよい脳」を育てる
- 4 10歳以降は、よい習慣を存分に活かし、「才能を発揮する脳」を伸ばしていく

図5 子どもの育脳で知っておくべきこと



子どもの成長に合わせて、4つの段階で脳を育てる!

1章 幼児の可能性は三歳までに決まってしまう

◆ 脳細胞の配線は三歳までに決まる

人間の脳細胞は約百四十億個もあるといわれますが、生まれたばかりの赤ん坊の脳はまだ白紙の状態であり、その脳細胞のほとんど稼働していません。では、この稼働する脳細胞というのは、いったいつごろまでに決まるのでしょうか。最新の研究によると、それが、ちょうど三歳ごろまでだというのです。

脳細胞というのは、その一つひとつがバラバラでは何の働きもしません。脳の顕微鏡写真を見ると、生後、時間がたち、知恵がついてくるにしたがって、各細胞間を結ぶ橋のような突起がふえているのが認められます。つまり、多くの脳細胞がお互いに手を伸ばし、つながり合い、からみ合ってはじめて、外から入ってくる情報の処理という頭脳特有の働きを示すことができるのです。これはちょうど、コンピュータのトランジスタ（半導体素子）が、一つひとつでは何の役割も果たせないのに、それぞれをつなぐ配線ができてはじめて、電子計算機としての機能を果たすことができるのと同じことです。

この脳細胞のからまり合い、コンピュータでいえばトランジスタとトランジスタのあいだの配線が急速に進む時期が、ちょうど〇歳から三歳の時期に相当するのです。そして、じつに配線全体の七〇パーセントから八〇パーセントが三歳までにでき上がってしまうという事です。この頭の中の配線が進むにしたがって、脳の重さもふえます。それも、なんと生後六カ月で二倍、三年で大人の八〇パーセントにまでふえてしまうということです。

もちろん、三歳を過ぎた子どもの脳は、もうまったく発達しないというわけではありません。四歳ごろからは、脳のまた別の部分の配線がなされるのです。四歳以降に配線が行われる部分は、頭の前部のほうにある前頭葉といわれる部分です。三歳までは、そのうしろ側のほうの配線がなされるのです。三歳以前と以後の配線の違いは、三歳以前が、コンピュータでいうハードウェア、つまり「機械の本体」に相当する部分で、三歳以後は、コンピュータでいうソフトウェア、つまり機械の使い方を教える部分ということになるでしょう。

『幼稚園では遅すぎる』（井深 大）より

2章 幼児の能力を最大限に伸ばす育て方・環境づくり

◆ 幼児の記憶力を育てるには俳句の繰り返し最良の教材

雪とける とけると鳩の なく木かな
猫の子が ちよいとおさえる 木の葉かな
這え笑え 二つになるぞ けさからは

右にあげた俳句は、いずれも江戸後期の俳人小林一茶の句です。才能教育の実験教室・幼児学園では、幼児の記憶力を高めるため、このような俳句を使っています。

俳句を選んだ理由はまず第一に、詩として短くまとまり一定の韻律をもっているため覚えやすいからです。さらには、「記憶させるものは、幼児の心を養い育てるもので、美しく格調が高いもの、生涯の記憶としてとどめる価値のあるもので、しかも子どもに親しまれるものでなければならぬ」という考えによります。

まず、冒頭にご紹介したような一茶の俳句を、幼児たちに毎日一句ずつ、背景の物語を話して興味をもたせながら覚えさせます。つぎの日には、それをまた繰り返しさせて、新しい句を同時に覚えさせます。こうして毎日繰り返しながら、俳句を全部暗誦させて、楽しみながら記憶力を養っていきこうというわけです。こうしてやっているうちに、はじめは十回繰り返してもなかなか覚えなかった子ども、二学期になると三、四回で、三学期には一回で頭に入れてしまうという事です。およそ一年間で、子どもの頭の中には、一茶の俳句が約百七十も入るそうです。

たいせつなのは反復で、一度忘れても気にせずまた繰り返しさせればよいのです。こうして訓練された子どもは、一千字分ぐらいの話は四、五回聞いただけで完全に記憶してしまっています。

そうはいっても、幼児に一茶の俳句など暗記させて、何のたしになるのかと、まだ疑問をお感じのかたもいらっしゃるでしょう。私も、最初は暗記に重点を置くやり方にはきわめて批判的でした。しかし、幼児学園で俳句を暗記させるのは、俳句を覚えさせるのが目的ではなく、こうした訓練を通じて、幼児の知能を開発し、創造力、思索力を養うことが目的なのです。その一つの実験的方法として、俳句を使っているにすぎないのです。

子どもが興味をもつものならば、和歌でも詩でもよいでしょう。要は、幼い子ども頭には、百でも二百でも俳句を暗記してしまうだけの記憶装置が備わっていることに注目したいのです。この記憶装置は、使わなければいざさびついていくでしょうし、使えば使うほどなめらかに回転し、記憶装置の容量も拡大していくのです。

『幼稚園では遅すぎる』（井深 大）より

3 「臨界期」を逃がさない教育を

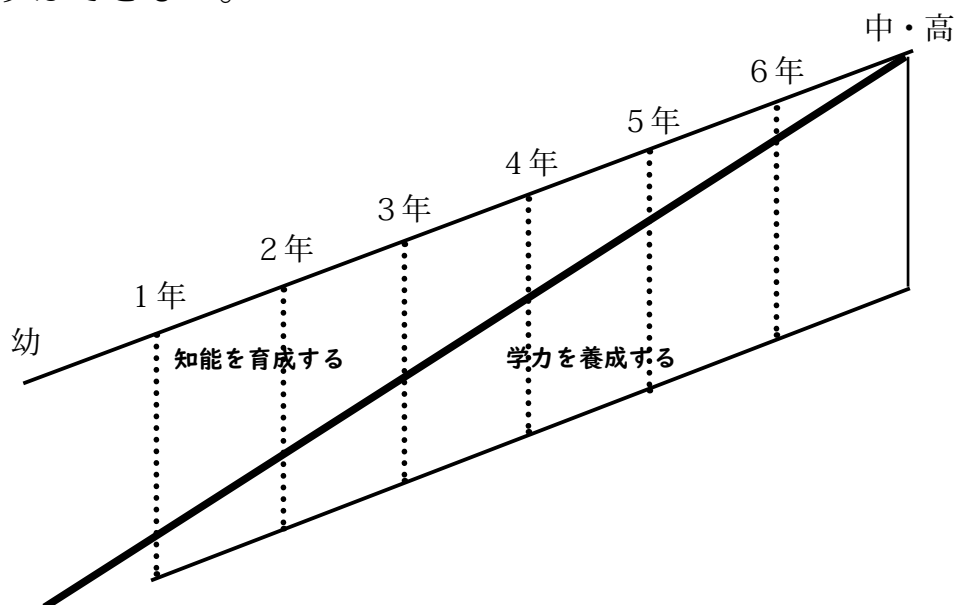
カリヨン（年中～小2）は幼児・小学生の可能性を引き出し伸ばし、豊かに育む能力開発教室です。

「知能」と「学力」を育てる『臨界期』がある

- 能力を身につける最高の時期を臨界期といい、その時機をのがすと身につけるのがむづかしい（生まれたばかりの猫に45日間光の刺激を与えないと視覚系の細胞が発達せず、永久に見えなくなる。45日間が目の臨界期。）

知能育成の臨界期は小学2年まで、学力育成の臨界期は小学5、6年生。

- 「知能」とは知識を習得する能力で、習得した知識を活用する能力。低学年のうちに知識と学力の基礎を十分に養い高学年でフルに発揮して学力を飛躍的に伸ばしたい。
- 良いことも悪いことも、ほとんどの種は幼児・小学生の時にまかれる。後戻りはできない。



『知能育成の臨界期＝年中～小2年』をのがさない
『学力育成の臨界期＝小学3～6年』をのがさない

幼少期の経験がその後の人生を大きく左右する

『人生のどの時点において教育に金をかけるかが効果的かを探る研究』

労働経済学に関する業績で 2000 年ノーベル賞を受賞した経済学者ジェームズ・ヘックマン
→ 就学前・特に乳幼児における教育の投資効果が絶大であることを見出した。

3歳から2年間教育介入（特に親の意識を高める）を行った。

- IQが著しく伸びて明らかな差が生じた
- 8歳時点では差がなくなる
- 40歳になった時、明らかな差が生じた

結論

乳幼児期において重要なのは、認知能力（いわゆるIQのような知的能力）ではなく
非認知能力をしっかりと身につけることだ。

非認知能力

自分を動機付ける能力、長期的な視野で行動する能力、自分を信じる能力
他者を信頼する能力、自分の感情をコントロールする能力

自己コントロール力が、人生の成功を大きく左右する

テリー・モフィット

ビッグロックの法則をご存じですか？

教訓 ……

例えば ……

学習におけるビッグロックは「非認知能力」

- 認知能力 …… papertest で測れる数値化しやすい能力
- 非認知能力 …… communication 能力や忍耐力など
数値として認知しにくい能力

乳幼児に身につけた非認知能力が後年の人生にまで大きな効果を与える。

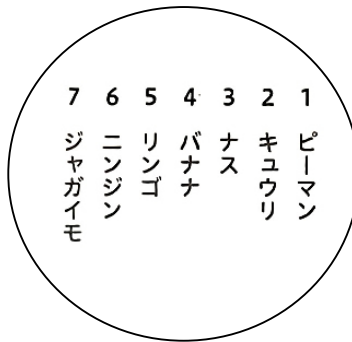
= 非認知能力が高ければ認知能力はあとからついてくる。

今 意図的に非認知能力を伸ばす様働きかけをしていく必要

非認知能力ってなんですか？

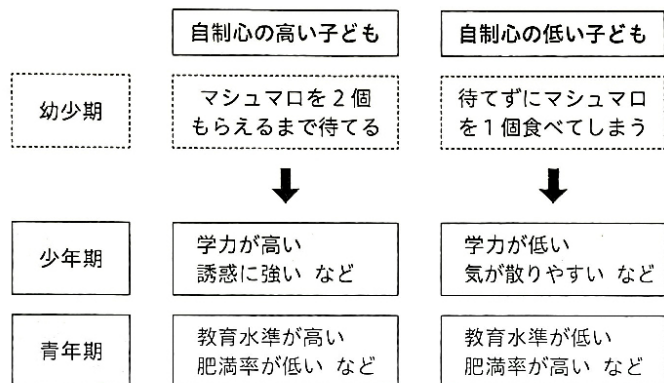
○ 水に浮くかな？

○ マシュマロテスト



Q: 次の野菜や果物は水に浮くか、沈むか

マシュマロテストの追跡調査結果



※ 幼少期における『教育』の重要性が高い

非認知能力は

のなかで高くなる。伸びる。

(F A研)の会員塾です

日本幼児基礎能力研究会 (F A研) とは

F Aとは、ファンダメンタル・アビリティ (Fundamental-Ability) の略です。

昭和2年(1927年)に小学校教員となった上里吉堯先生が独自のアイデアで作り出した教材とその教育法はやがて中学校や高等学校でも実践されましたが、昭和20年の終戦直後から幼児教育の重要性に気付き、やがて昭和28年に創立した愛知県豊橋市の仔羊幼稚園へとその実践の場が移されました。この幼稚園における上里式裸教育や才能開発プログラムはNHKをはじめ、各マスコミを通じて全国に注目されました。

この上里式教育法を更に研究し実践していくために、昭和54年にF A研が発足し、先代の思想が2代目の龍生先生に引き継がれて現在、更に発展をしています。

今では、このF A研の教育法を取り入れた200以上の幼稚園と幼児才能教室で地道に確実な成果をあげています。

●実績に基づいた効果の高い能力開発プログラムであること

幼児才能教室は全国に数多くあります。積み木、フラッシュカード、計算、言葉、手法もいろいろです。

F A研(日本幼児基礎能力研究会)の考え方・手法・教材は75年の歴史を持ち、ほんとうに数多くの子どもに対して幼稚園や幼児教室の現場で実際に使われ、工夫が加えられ改善をされながら現在に至っています。

子どもに対する効果を見ながら作り上げられてきて、思い込み・ひとりよがりでない良さは、何ものも替わることが出来ません。

●フランチャイズを前提にした教材・手法ではないこと

全国にフランチャイズ展開をする幼児教室もあります。教材の見栄えは良いので大人うけしますが、上滑りの効果をあげるしか出来ません。

現場の実践から生まれ育ってきたものであること。それがWILLがF A研を選んで、会員となっている理由です。

四谷大塚は半世紀以上にわたり中学受験のための学習指導を行ってきた。

その過程で、中学受験の成否のカギが低学年教育にあることを知り、小学校低学年の学習指導を研究し、低学年教育のあり方を開発し、カリキュラムと教材を作り上げた。

	対象	目標	指導	主な教材	定員	単位時間	通塾回数
ジュニアカリヨン	年中 年長	① 書く・読む・聞く・造る・動く等体全体を使い、幼児期の子どもたちの知的基礎能力（＝直感力・想像力・表現力・思考力・判断力）を育てる ② 古典のきれいな言葉に触れさせ、語彙を増やし、言語思考力・表現力を豊かにする。 ③ 短時間に多数の語彙を暗記することを通し"暗記する能力"そのものを高める。 ④ 様々な図形の操作を通し、図形の分解・合成・変形・回転・移動等の図形概念を身につけ、直感力を育てる。 ⑤ 算数の基礎的な知識や技能を身につけるとともに、見通しを持ち筋道を立てて考え、数学的に処理する能力（数学的思考力）を身につける。	○記憶力 ○数と形 ○英語 ○文字と言葉 ○数学的処置 ○論理	○FA研 ○mpiの英語 ○ユニキューブ ○積木 など	5名	50分	週2回
							(週1回も可)
シニアカリヨン	小1・2	① 書く・読む・聞く・造る・動く等体全体を使い、幼児期の子どもたちの知的基礎能力（＝直感力・想像力・表現力・思考力・判断力）を育てる ② 古典のきれいな言葉に触れさせ、語彙を増やし、言語思考力・表現力を豊かにする。 ③ 短時間に多数の語彙を暗記することを通し"暗記する能力"そのものを高める。 ④ 様々な図形の操作を通し、図形の分解・合成・変形・回転・移動等の図形概念を身につけ、直感力を育てる。 ⑤ 算数の基礎的な知識や技能を身につけるとともに、見通しを持ち筋道を立てて考え、数学的に処理する能力（数学的思考力）を身につける。	○上記指導 ○学校で指導する算国学習内容	○FA研 ○四谷大塚 ○論理エンジン	12名	50分	週2回
							(週1回も可)

シニアカリヨンは学校が長期休暇となる春・夏・冬に、集中的に算数・国語の学習を行う特別授業を行います。

※ 『ジュニアカリヨン』『シニアカリヨン』は何をやっていますか？とたずねられても、「.....をやっています」とお答えしにくいのです。松山に同じような指導をしている所はどこにもありません。是非教室においてになり、実際に体験してみてください。

(体験受講は無料です。)

- 好奇心が刺激され『もっと学習したい』と思うためには、『一級品の教材にたくさん触れる』必要がある。

ウィルの幼児と低学年指導『カリヨン』で使用する教材はまさに『一級品』ぞろい。経験豊富な指導者のもとでそれらにたくさん触れ、楽しく取り組むうちに「しっかり考える習慣」を身につける。

● 四谷大塚 『ジュニア予習シリーズ（算数・国語）』

四谷大塚が開発した小学低学年の「知能を育て学力の基礎を身につける」教材

各科 1冊ずつ / 月（11カ月）＋春季＋夏季＋冬季教材

● 四谷大塚 『ホームワーク（算数・国語）』

各科 1冊ずつ / 月（家庭学習用、日付つきで学習習慣をつける）

● FA 研（日本幼児基礎能力研究会）の教材

FA 研の考え方・手法・教材は 75 年の歴史を持ち数多くの幼稚園や幼児教室の現場で実際に使われ、工夫が加えられている。子どもに対する効果を見ながら作り上げられた良さは何ものも替わることができない。

- | | |
|--|--------------------|
| ・てんとうむし（全 36 冊）数と形 | ・アングルパネル（空間知覚） |
| ・すずめ（ // ）文字と文章 | ・パターンメーカー（右脳・ひらめき） |
| ・めだか（ // ）数字と計算 | ・図形プリント |
| ・みみず（ // ）線の訓練 | ・図形カード |
| ・短冊教材（全 10 冊）記憶力を鍛える。
ことわざ・慣用句・俳句
都道府県・百人一首・熟語など | ・手を使う道具 ・数ゲーム 他 |

● 論理エンジン

「国語教育のカリスマ」 出口 汪（ひろし）さんが小学生対象につくった言語能力育成教材。

● mpi の英語教材

mpi は創立 40 周年。教材は全て小・中学校や英語教室での実践を基に研究しつくされた。歌と絵本を中心に使います。

● ・ ニキーチンのユニキューブ

- ・ みんなの積木
- ・ 季節の歌 などのプリント

上里式教材の全体は以下の通りです。

単元	教材名	指導目的	単元	教材名	指導目的
数と形	アングルパネル	空間知覚を養う(右脳)	記憶力	ペリカン	日記を書く習慣をつける
	パターンメーカー	パターン認識(右脳)を鍛える。センス、ひらめき。		一茶俳句集	<ul style="list-style-type: none"> 言葉の記憶力を養うとともに俳句を覚えることにより日本語の美しさ、言葉の使い方などを覚える。自分でも俳句が作れるようになる。(俳句集) 言葉の記憶力を養うとともに、多くの言葉を知り、言葉に対する興味を大きくする(四字熟語) 語いを豊富にし、表現のおもしろさを知るとともに、日本語の思考力を養う(慣用句・ことわざ・百人一首) 全国の県名や主な都市名を覚えることにより、日本の地理に興味をもつようになる(都道府県・湖)
	きりん			蕪村俳句集	
	てんとうむし	数の概念を育てる。図形認識の基礎		芭蕉俳句集	
	めだか	計算力・数学的思考を養う		慣用句1	
	百玉計数機			慣用句2	
	楽しい形遊び			ことわざ集	
	基石並べ			四字熟語1	
	九九			四字熟語2	
	数ゲーム	数の概念を身につけ、計算が正確に		百人一首	
図形プリント		都道府県			
時計	ふくろう	時計の読み方練習、時間の概念を養う	湖		
数学的処理	アルクトゥルス	上記「アングルパネル」から「計算ドリル」までの発展編	英語	フォニックス	英語の基礎(音と文字の規則性定着)
	アルタイル		季節の歌		
	アンタレス		詩の素読		
	デネブ		フラッシュカード	パターン認識を養い、文字、図形、色など様々な知識を大量・短時間に記憶	
	ベガ		すずめ	文字・文章を正しく書く練習	
	図形カード等		古典の素読	枕草子・方丈記など	
手と目の共応	みみず	文字書き・絵描きの基礎訓練	文字と言葉	ことば遊び	
	きつつき	共応力を養う		お話作り	
	手を使う道具	手の訓練		読書	
	折れ尺	想像表現力		もぐら&しろくま	漢字の読み書き練習

カリヨンは、1コマ50分の授業中に25の学習メニューを盛り込み
集中力を持続し、基礎能力を伸長させます。

シニアカリヨン（小1・2）で使用する四谷大塚の教材

算数



例… 小学2年算数【分数】

12月号で「分数」の学習に取り組みます。平成23年度の学習指導要領の改訂で、学校でも小学2年生から分数を学習するようになりました。ここでは、小学3年生から始まる本格的な分数の学習の前段階として、分数を視覚的にとらえ、意味を理解することをねらいとしています。ジュニア予習シリーズで

は、教材に色を塗るといった作業をしながら理解を深められるような構成となっています。ご家庭では折り紙などを使って、もとの大きさを半分(1/2)⇒半分(1/4)⇒半分(1/8)にしてみることで、理解を深めましょう。ジュニア予習シリーズでは1つの方法を提示してそれを作業として覚えさせるのではなく、さまざまな手段の中から問題や状況に合わせて適切な方法を選び、問題解決できる力の育成を目指しています。

国語



例… 小学2年国語【長文読解】

小学1年生では文章に親しむことを重視しながら学習していきますが、小学2年生ではそこから更に一歩踏み込み、話の中での物事の移り変わりや登場人物の気持ちにも触れながら、楽しんで読めることを目標に取り組んでいきます。物語は「いつ」「どこで」「だれが」「どうした」という4点から場面をとらえ、あらすじをつかむことが大切。文章量もぐんと増え、手ごたえ十分です。文章読解の学習だけでなく、漢字・慣用句などの言語要素の学習ももれなく行います。

文章量もぐんと増え、手ごたえ十分です。文章読解の学習だけでなく、漢字・慣用句などの言語要素の学習ももれなく行います。

毎日の学習の習慣化に役立つ「ホームワーク」

算数・国語の「ホームワーク」は、毎月1冊ずつ、年間で各12冊。1日1ページで365日分、日付も記載してありますので、家庭学習の習慣化にも役立ちます。基礎力の定着はもちろん吟味された良質の問題は手ごたえも十分です。当月分の学習内容だけでなく、忘れたころにまた確認できるよう考え抜かれた復習問題など、毎日バラエティに富んだ問題を出題しています。



小学2年生の毎月楽しいミッションにも挑戦します。小学2年12月号ではクリスマスに関係あるものを折り紙で作ります。



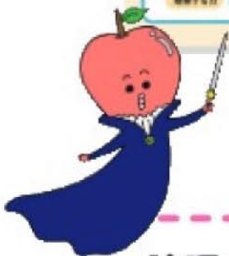
国語のホームワークには世界の名作が表紙の絵に登場します。小学2年生12月号は「雪の女王」。お子さまの読書への興味を引き出します。

論理エンジン

学習塾や中学校・高校で次々と正式採用されている『論理エンジン』に待望の小学生版が登場！小学生低学年からでも「論理」を学べる、画期的な問題集です！！

キッズ

全冊子、全ページフルカラー



論理的な読解力・思考力・表現力は、2020年度開始の「大学入学共通テスト」や公立中高一貫校の適性検査、全国学力テストの「国語B問題」などの問題を解くために欠かせない能力です。

『論理エンジンキッズ』は、小学生低学年のうちから論理力を身につけるための仕掛けが満載！他書では学べない革新的なメソッドが盛りだくさんです。

カリヨン・シニアカリヨンで使用するmpiの教材

4月29日は
フォニックスの日!!

mpiは子ども英語教育の
パイオニアであり続けます

mpiは常に変化してゆく世界の中で、日本の子どもたちのために
何が一番必要か見極め、出版・教育・情報の分野で常に発信してゆきます

つくる
出版・販売

おしえる
英語教室

つたえる
指導者
養成セミナー

Plant your future
mpi

沿革

- | | | |
|---|---|---|
| <p>1979 松香フォニックス研究所 (MPI) 設立</p> <p>1980 MPI英語教室開校</p> <p>1981 MPI全国研究会 (The AJSJG) 発足</p> <p>1987 MPI教材中国語版出版 (台湾ケープス社)</p> <p>1995 MPI教材韓国語版出版 (韓国バンナム社)</p> <p>1997 海外セミナー「日韓英語教師交流研修会」(韓国・ソウル) 開催</p> <p>1998 海外セミナー「MPI オーストラリア・コミュニケーション体験ツアー」(オーストラリア・ブリスベン)</p> <p>海外セミナー「MPI 日韓英語教師交流研修会 '98」(韓国・ソウル)</p> <p>1999 Dr. Phonics English Academy との共同事業開始</p> <p>2000 (株) 正進社との共同事業開始
文部省委託「地域で進める子ども外国語学習推進事業」として「Hello, Kids!」プログラム開始</p> <p>2001 「英語のできる12歳」(所長松香洋子著)が日本図書協会認定図書に選定される</p> <p>2002 文部科学省後援パネルディスカッション「小学校英語が日本の子どもを元気にする」全国8カ所で開催
MPI「小学校英語サポートシステム」展開</p> <p>2003 NPO小学校英語講師認定協議会設立 理事及び認定委員に松香洋子が就任
資格認定登録団体第2号
学校図書株式会社との共同事業開始</p> <p>2004 MPI創立25周年記念大会「教育は未来を築く子どもたちのために」開催 500名参加
松香フォニックス研究所・MPI英語教室 東京都渋谷区代々木2-16-2 (現在地) へ移転</p> <p>2005 教材『Gorsch the Cellist』が高沢賢治学会より「イーハトーブ賞奨励賞」を受賞
「学校と民間との協働プラン開発事業」(埼玉県教育委員会) 協力団体として採用決定</p> | <p>2004 MPI創立25周年記念大会「教育は未来を築く子どもたちのために」開催 500名参加
松香フォニックス研究所・MPI英語教室 東京都渋谷区代々木2-16-2 (現在地) へ移転</p> <p>2005 教材『Gorsch the Cellist』が高沢賢治学会より「イーハトーブ賞奨励賞」を受賞
「学校と民間との協働プラン開発事業」(埼玉県教育委員会) 協力団体として採用決定</p> <p>2006 小学校英語サポート事業 支援校2000校突破
読売新聞社後援「パートナーkidsコンテスト」及び「MPI英語教育フォーラム」を各地で開催</p> <p>2008 所長松香洋子が英国国際教育研究所第1回国際言語教育賞「ことばと教育」児童英語部門伊藤克敏賞受賞</p> <p>2014 株式会社mpi松香フォニックス(現社名)に
「朝日小学生新聞」で『音の出る新聞 朝小えいご塾』(mpi監修)の連載開始
スマートフォンを紙上にかさすと英語の歌や動画が流れる学習コンテンツを開発
「朝日Weekly」にて『親子で学ぶキッズ英語』(mpi監修)の連載開始
創立35周年記念イベント開催(1200名参加)
大阪府より府内小学校向けの新しい英語学習パッケージ開発業者として選定される</p> <p>2015 総務省「先導的教育システム実証事業」の
ツとして、
教材「Superstar Songsシリーズ」「動く
ーズ」が導入される
「一小学校英語—英語モジュールDVD」の導入校が150校突破
朝日小学生新聞、朝日Weeklyの監修を継続</p> | <p>2016 神奈川県大和市の「英語教育推進策」に採択される
大阪府教育委員会とmpi松香フォニックスが共同開発した
プログラム「DREAM」(大阪府内向け)を、大阪府以外では「小学校英語 SWITCH ON」として
mpi松香フォニックスが販売開始</p> <p>2017 一般社団法人 日本記念日協会より認定を
の「文字」と「音」の関係を学び、正しい発音を身につける「フォニックス学習法」の記念日として、
「4 (フォ)」「2 (ニ)」「9 (クス)」の語呂合わせから4月29日を
「フォニックスの日」として制定。
ソフトバンク C&SとSWITCH ON!のアプリ版を共同開発
(株) 明光ネットワークと明光みらいの小学生向け英語アプリを共同開発</p> <p>2018 (株)イーオンホールディングスの株
DDIグループに参画
創立39周年記念イベント開催
明光ネットワークジャパンと共同開発した小学生向け英語学習プログラム「明光みらい英語」が
第15回日本e-learning大賞にて「英語4技能教育特別部門賞」を受賞</p> |
|---|---|---|

（'23年度【前期】時間割）

対象	曜日	時間
ジュニア・加算	年中	火・金 15:00～15:50
	年長	火・金 16:00～16:50
シニア・加算	小1	月・土 月16:20～17:10 土9:00～9:50
	小2	水・土 水16:20～17:10 土10:20～11:10

◆カリヨンは、週2回（週1回も可能）。

（週1回の場合は都合の良い曜日を選んでいただきます。）

対象	曜日	時間
小3	火・木	17:10～18:50 (演習18:50～19:40)
	土	12:20～15:20
小4	月・水・金	17:10～18:50 (演習18:50～19:40)
	土(週テストと論理、算数演習)	11:40～13:50 (演習13:50～15:20)
小5	月・水・金	18:00～20:30 (演習20:30～21:30)
小6	火・木	18:00～20:30 (演習20:30～21:30)
	土	15:20～18:40
	土曜特訓(算数)	19:20～21:10
	日曜特訓	9:00～18:30
中1	火・木	19:40～21:30
中2	月・水	19:20～21:20
中3	金	17:30～19:30

- ◆小3・小4の『演習』は、算数の質問受けと問題演習
- ◆小5・小6の『演習』は、全員必須受講。算数の正規授業と考えて下さい。
(算数の当日内容の質問受けと演習)
- ◆『勉強部屋』……家庭学習の習慣をつけるための(自学)個別学習
(授業の予習・復習をする)
……<月曜～金曜> いずれも(～21:00)
- ◆小6は2月より土曜特訓(19:20～21:10)、
9月より日曜特訓(9:00～18:00)有り。
【内容:基礎事項定着(前期)と過去問の解説・演習(後期)】

- ◆選択制の「応用算数」(小4・5・6) (月1回(日) ※時間割参照)
- 「応用理科」(小5・6) (月1回(日) ※時間割参照)
- 「国語読解法」(小6【前期】)有り

○テストの実施日時

(4・5・6年) 週テスト

・実施日は別紙

毎週	4年	11:40～13:05
土曜	5年	9:00～11:40
	6年	11:50～15:00

(3年) 月カリキュラムテスト

・土曜日(日時は別紙)

(全学年) 公開模試・講習会判定・公開組分テストなど

・その都度連絡

'23年度通常授業受講料金(税込)

◎入塾金 20,000円

(兄弟姉妹が在籍の場合 2人目以降は6,000円)

対象	料金
カリヨン	年中・年長 週2 17,700円 (週1 13,300円)
	小1・2
平成愛光塾	小3 火木クラス 19,900円 土曜クラス
	小4(月・水・金) 27,500円 (水曜【理・社】不受…19,900円)
	小5 30,800円
	小6 33,000円
中学部	中1 22,000円
	中2 22,000円
	中3 15,400円

◎受講料の減額

●兄弟姉妹が在籍の場合、2人目以降

(小4・5・6年に同時在籍の場合)

10,000円/月

(上記以外)

5,000円/月

減額させていただきます。

◎教材費

●カリヨン・シニアカリヨン…… 3,600円/月

●小3～小6…実費(『使用テキスト一覧』をご覧ください)

※半期ごと(前期～8月、後期9月～1月に前納をお願い致します)

◎算数演習受験料

●演習……(4・5・6年) 6,700円/月

(3年) 4,600円/月

※半期ごと(前期～8月、後期9月～1月に前納をお願い致します)

◎『勉強部屋』

……週1日 5,500円/月

(希望による) 週2日以上 11,000円/月

◎「応用算数」「応用理科」「国語読解法」

(希望による) ……塾生 27,500円/半期

一般生 30,000円/半期

(受講は全国模試偏差値50以上の者に限る)

◎テスト受験料(細目は「ウィルの実施するテスト」を参照)

●月例テスト(3年) 学力判定(4・5年)

公開組分(4・5年) 合不合格判定(6年)

……四谷大塚の定める受験料

●《ウィル》

(4年) 週テストと『論理』… 1,500円/回

(5・6年) 週テスト… 1,700円/回

授業料等の納入は口座振替を利用していただきます

「知能の基礎部分は10歳までにほぼ完成する」

「教育」の役割は、「生きる力」、「人として生きる能力」をつけることですが、その「教育」はいつ開始されるべきでしょうか？
小学校に入学した時でしょうか？

言葉の取得、必要なだけの体力・運動能力、他人と過去と未来を想う想像力、読書力、リズム感、直感力、記憶力……。

これら『基礎能力』は、人の一生を決定するほどの重要な能力であり、10歳までに完成してしまうといわれています。

これらの能力の開発を「小学校に入って学校におまかせする」ことはできません。井深大さんが言うように「胎児から」「0歳—教育の最適時期」であり、親による環境づくり、刺激・体験を与える時機と方法が問われることになります。

日本の学校はとても優秀で、大きな役割を果たし、今も果たしています。しかし、優れているが故に「学校にまかせておけば大丈夫」「まだ学校で習っていないから、それ以上やる必要はない」と、学校に過度に依存する姿勢を生み出しました。また逆に、「学校で6年生がやることをこの子は2年生でもできる」といった早教育の害も生んだのです。

「我が子の教育の内容と時機に関する責任は、親にある。」あたり前のことが、今問われています。

臨界期

脳生理学では『臨界期』という言葉をよく使うそうです。しかるべき時期に刺激を受けなければ、機能が正常に発達しない。その「しかるべき時期」のことを「臨界期」というのです。

例えば、生まれたばかりの猫に目隠しをして、そのまま45日間、光の刺激を与えない。そうすると視覚系の神経細胞は発達せず、ついに永久にも物が見えなくなる。この45日間が、猫の目にとっての臨界期という訳です。

人の能力の開発・発達にも『臨界期』はあります。記憶力・音楽的能力・計算力・運動能力……。胎児の時、0歳の時、3歳、その時々に必要な刺激を与えるのが親の仕事・教師の役割です。

直感力・記憶力などの臨界期は、9歳までといわれます。その時期に能力を開発することをせず、15歳・18歳になって「なかなか覚えられない」と悩むことのないようにしたいものだと思います。

「治療」と「予防」

我々は実に『治療好き』で『予防嫌い』ですね。虫歯にしても風邪にしても、「こうすれば風邪になりません。」の意見よりも、「こうすれば風邪がすぐ治る」方法伝授に耳を傾けます。保険制度の危機的状況も『治療好き』『予防嫌い』が生んだものでしょう。

子育て・教育も同じようです。塾通いも『予防』の為ではなく、『治療』の為にこそ必要とされていて、入塾の時には、入塾テストや面談を行い、「治療すべき箇所の発見・親と子と教師の共有」を行うのが通例です。

風邪ならひいだけ体に抵抗力がつくかもしれませんが、子育て・教育には、失敗・やり直しが無い方がよいのです。特に15歳くらいまでの間には「挑戦・成功・発見の体験」をなるべく多く、「失敗の体験」をなるべく少なく、が鉄則です。

15歳からの『失敗』に対して復元できる「自分の型・基礎体力・基礎学力・基礎能力」をつくるのが

幼児・小学生の基礎能力開発の役割です。

我々は『予防好き』の皆様の参加をお待ちしております。

「平等」と「能力差」

「人は生まれながらに平等だ。」「子どもは皆等しく無限の可能性を持つ。」我々は無意識的に、全ての人間は等しい能力を持って生まれたことを前提にしているようにみえます。

我々は「能力差」の問題にはできるだけ目を閉じていこうとする強い傾向を持ち、時として「能力差」の問題をタブーとしてきました。しかし、世界的な視野でみるとそうではない。現在の日本の小学校に落第のないことを不思議がり、「そんな不親切な教育をして良いのか」という欧米の人々（欧米の小学校には飛び級と落第制度がある）は、強い違和感を持つのが普通です。

事実、明らかに「能力差」は存在します。学校教育スタートの小学1年生ですら、それぞれの持つ能力には違いがみられ、それぞれの能力ごとに個人差があるのです。

わが子の得意、わが子の持つどの能力を伸ばさせるのがその子の創造的な生き方につながるのか判断し、大いに能力を伸ばさせるべきです。それが自己実現につながります。

9歳ころまでは基礎能力を伸ばさせる機会を多くもちたいものです。

「能力差はある。それを認めよう。」

「能力は時機を得た教育・訓練で伸ばすることができる。伸ばされるべきだ。」

子育てワンポイント 日本幼児基礎能力研究会会長（仔羊幼稚園園長）上里龍生先生のお話から 子どもに話しかけるときには...

どこかの育児書に「子どもと向き合って、目を良く見ながらゆっくりと話し掛ければ小さな子どもでも良く分かります。」などと書いてあるのを見たことはありませんか？

じつはこれは全くの勘違いです。小さな子どもは、これでは何を言われているのか理解することが出来ません。向き合っただけで見つめ合っても、小さな子どもとはコミュニケーションできません。それに、ゆっくり話したら、小さな子どもほど、その内容を理解できなくなってしまうのです。

小さな子どもに話し掛けるコツは「接近していること」「同じ方向を向いていること」「早口で話し掛けること」の3つです。育児書に書いてある話し方は老人に向かって話し掛ける方法なのです。

子どもを後ろからそっと抱いて、耳元で小声で早口に話し掛けてごらん下さい。驚くほど子どもは素直に聞いてくれるでしょう。これで親子のコミュニケーションはバッチシです。

幼児教育の原則 「幼時鍛錬」(上里龍生 監修 川村史記 著)より 『より早い時期』とは...

我が子を競走馬のように勉強の競争に駆り立てる、いわゆる教育パパやママは、Aさんの子どもが三歳でピアノを習い始めたと聞けば、負けてなるものかと二歳の我が子にバイオリンを習わせ始めるとか、Bさんの五歳の息子が小学一年生の国語の教科書を読んでいると読んでいると聞けばあわてふためいて、幼児に小学生並みの学習指導を提供する英才教育塾へ入塾させようと必死になるなど、そのご乱行は目を覆うばかりですが、このような先取り教育は、上里先生が最も忌み嫌う教育の一つです。上里先生は『より早い時期の教育』について、次のように述べています。

「より早い時期とはどういう意味でしょうか。例えば、自分の目の前にいる子どもを見て、この子には今、こういう教育をしなければならないと気付いたとします。では、いつからその教育を始めたらいいのでしょうか。明日にしまししょうか、来年からにしまししょうか。もし、来年からやりましようと言え、その教育は一年遅れることとなります。来月からやりましようと言え、一ヶ月遅れます。明日からやりましようと言え、一日遅れるということです。つまりこれは全て手遅れです。教育とは気付いたその日その時にやらなければなりません。このことを『より早い時期』という言葉で表現しているわけです。」

つまり、「この子はピアノを習いたがっている」と気が付いていても一週間後から始めれば一週間の手遅れを作ってしまったと言うことです。上里先生は「植木鉢の花が萎れかかっているのを見て明日水をやりましようと言ったらどうなりますか。今、肥料を与えるとよい花が咲くだろうと思っても、一週間待ったらどうなるでしょう。」と言っていますが、今が丁度施肥するときだと気付きながら怠ったら、よい開花もよい実りにも結びつくはずがありません。その意味では、先取り教育に血道を上げるのではなく、子どもを見て教育のチャンスを逃さないことが大切なのです。

カリヨンのお母様方にお尋ねしました。

「『カリヨン』はどんな教室ですか？お子様の様子はどうですか？」

「字は以前から読めてはいたんですが、書くのは好きじゃなかったんです。今ではひらがなもカタカナもどんどんすすんで書くようになりました。書くのが楽しいようです。イキイキとレッスンを受けているのを見てうれしくなります」(年長)

「50分間の授業中、子どもを飽きさせないのがスゴイ。ワーク中心でなく指先も使い、声も出し、英語もやる。みんなと一緒に体を使うのがいいんでしょう。勉強だけじゃなく、スポーツも一生懸命やり続ける子になってほしいですね」(年中)

「今の幼稚園は、机の前に座るということがありません。どこでもいい、好きな所に座りなさいと言われます。自分の場所があって、その場所で何かするということがないんですね。カリヨンに来るとめいめいに机と椅子があり、その上でノートをひろげて何かすることが楽しいと思えるようになりました。自分の場所にすわることが習慣になって良かったと思います」(年長)

「カリヨンに来るまでは集中するということができなかったのに、ノートを1ページか2ページ書く時間くらいは集中できるようになりました。『カリヨン続ける？』と聞いたら、『続けてやりたい』と自分からすすんで来るようになりました。続けてよかったです」(年中)

「ふと思い出したように、『塾の勉強する』と言って教材を出してきます。面白くなってきたみたい。意欲が出てきたみたいです。家にいるとまだ赤ちゃん扱いされるのに、ここへ来ると親以外の人にいろいろなことを教えてもらって、習ったことを他の人に言ったら反応があって、そんなことがうれしいんですね」(年少)

「漢字や詩に興味を持ってきました。四字熟語や慣用句をテンポよく読んでいくのがいいようです。テンポがいいと覚えやすいので、記憶力の訓練にもなりますね。やわらかい頭で、ものごとをいろいろな方向から見る事ができるようになってほしい」(小1)

「入学準備の為に通うようになりました。以前通っていた他の教室は嫌がっていたんですが、ここは来るのが楽しいんです。数字に興味を持って、習ったことを自分なりに発展させて足し算をしたりしています」(年長)

「もともと丁寧にやる子でしたが、計算が正確で速く出来るようになりました。学校の先生にクラスで一番ですと言われてびっくりしました」(小2)

「2年生にもなると苦手なこともあるようですが、授業のテンポで、ついやってしまうんですね。やったらできるので、今度はやってみようとする。そんな様子ですね。集団でテンポよくやるのがいいんでしょう」(小2)

「家での様子が全然ちがいます。一番大きな違いは数字に敏感になったこと。このあいだもお店へ一緒に行ったとき、2の数字を見て二の段の九九を言い出すんです。二七、二八はまだ言いにくいんですけどね。あれは3だ、5だ、と目に付く数字はのがさないんです」(最年少)

「実際の幼稚園に使われてきた教材だと、安心感があります」(年中)

「ほかの教室に通っていた時、いやいや続けさせていると、とうとう習い事に対する拒否反応を起こしてしまいました。これは困るのでやめたのですが、カリヨンには喜んでくるので安心しています」(年長)

「50分間集中してやれていることに驚いています。親のかわりにやってくれるというふうに教室のことを考えたとき、安心して任せられると思っています」(年少)

「声を出して、俳句や四字熟語や慣用句を覚えたり、音読することはとても良いようです。集中力もつき、口について出ることがしばしばです」(小1)

「言葉に出すことはないけど、カリヨンは楽しみにしています。宿題も家でちゃんとして、責任感が出てきました。幼稚園の課題も日記も、積極的にやるようになりました。好奇心も強くなったと思います」(年少)

「始めは行かされているという感じがあったけど、今は自分自身がやっている。自分がやりたいと思っているように感じます」(年長)

「算数・国語だけでなく、文字・計算・図形・言葉・英語と、幅広く勉強するのがいい。英語の発音なんか、私がハッとすくらいいい音を出してびっくりしました。いい音を聞き分ける耳があるんですね」(年少)

入塾まで、入塾から1カ月後まで

通塾の成果を一層大きくするため

’23年度からWILLに入塾していただく流れを以下のようにさせていただきます

- はじめの1ヶ月はためし入塾として、1ヶ月たって正規入塾していただく。
- (4年生~6年生)は入塾テスト(算数・国語)を行う。
- (1年生~3年生)は音読・計算の確認を行う。

